

エウレカセブンA0 (2012)

メディア TV アニメ

ジャンル SF アクション ロボット

製作国 日本

色彩 Color

2012/04/12 ~

TV放映

木曜日

25:55~26:25

MBS

【解説】

2005~06年にかけて放映された、ボンズ制作のTVアニメーション「交響詩エウレカセブン」の続編。京田知己監督、キーキャラクターデザインの吉田健一、ニルヴァーシュデザインの河森正治ら前作のスタッフに加え、キャラクターデザインに「俺の妹がこんなに可愛いわけがない」の織田広之、ストーリーエディターに「鋼の錬金術師」の會川昇が新たに参加。前作の主人公であるレントンとエウレカの息子、フカイ・アオを主人公に、前作の世界観を継承しつつ、新たなストーリーが展開する。第17回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門審査委員会推薦作品。

舞台は2025年、沖縄の磐戸島。主人公アオは、13年前に突然空から落ちてきた母エウレカを匿った老医師のトシオとともに暮らしている。一方、エウレカは10年前のスカブバーストの際に米軍に拉致されて以来、行方不明となっていた。島の人々は、青い髪のエウレカがスカブコーラルを呼び寄せた諸悪の根源だと信じており、その息子であるアオは「ガイジンの子」「宇宙人」と蔑まれ、疎まれていた。そんなある日、海辺で日本軍の依頼を受けた運び屋ガゼルらの操縦するFP (Flying Platform) に遭遇したアオは、その積荷から落ちたブレスレットを手に入れる。そのとき、海に巨大なスカブコーラルが出現。それを追うようにして、シークレットと呼ばれるモンスターの攻撃が始まった。幼馴染みのアラタ・ナルを守ろうと彼女の元に向かったアオは、ブレスレットを探していたガゼルに出会う。ガゼルが運んでいたのは日本軍保有のIF0 (Intelligent Flying Object/人型兵器) ニルヴァーシュで、ブレスレットはそれを起動するための鍵だったのだ。日本軍の協力を得て島を守ろうと考えたガゼルは、アオを連れて日本軍特命輸送艦に乗り込んだ。ブレスレットに導かれるようにして、甲板に置かれていたニルヴァーシュに乗りこむアオ。すると、それまで誰にも起動することができなかったニルヴァーシュが、10年振りに起動。戦闘の末、どうにかシークレットを撃破したアオの髪は、母エウレカと同じ青色に変わっていた…。過去と対峙し、運命を切り拓くアオの旅が今、始まる！

【クレジット】

監督	京田知己
アニメーション制作	ボンズ
チーフプロデューサー	南雅彦 湯川淳 細川修 稲垣浩文 丸山博雄
企画	竹田青滋 南雅彦 川城和実 峯岸卓生 鶴之澤伸 古澤圭亮

プロデューサー	天野直樹 向井地基起 小岐須泰世 射場周作 前田俊博	
原作	BONES	
キャラクターデザイン デザインワークス	織田広之 竹内志保 武半慎吾	
メカニックデザイン	山根公利 柳瀬敬之 海老川兼武	
撮影監督	木村俊也	
美術	永井一男	
美術監督	永井一男	
色彩設計	水田信子	
編集	坂本久美子	
音響監督	若林和弘	
音響効果	倉橋静男	
音楽	Nakamura Koji	
音楽プロデューサー	外村敬一 黒須礼央	
音楽制作	アニプレックス	
SF設定	堺三保	
特技監督	村木靖	
テクニカルディレクター	宮原洋平	
キーキャラクターデザイン	吉田健一	
ニルヴァーシュデザイン	河森正治	
デザインデベロプメント	コヤマシゲト Shigeto Koyama	
声の出演	本城雄太郎 宮本佳那子 大橋彩香 小見川千明 井上和彦 中村千絵 桐本琢也 酒井敬幸 藤田圭宣 堀勝之祐	フカイ・アオ アラタ・ナル フレア・ブラン エレナ・ピープルズ トゥルース レベッカ・ハルストレム ガゼル ピッポ ハン・ジュノ フカイ・トシオ